

辞書引き教材の開発について

細川美紀

[目次] 1. はじめに

- 1 - 1 . センターの辞書引き指導の目的
- 1 - 2 . 辞書引き教材の必要性
- 2 . 教材のねらい
 - 2 - 1 . 辞書が引けるとはどういう力か
 - 2 - 2 . どんな語彙が引けるようになればいいか
 - 2 - 3 . どの形の語彙が引けるようになればいいか
 - 2 - 4 . どの順序で引けるようになればいいか
 - 2 - 5 . どのようにこの教材を使えることをめざしたか
- 3 . 教材を使った活動例
 - 3 - 1 . 学習者タイプ別のプログラム
 - 3 - 2 . 個別化の活動例
- 4 . おわりに - 今後の課題

1. はじめに

1 - 1 . センターの辞書引き指導の目的

中国帰国者定着促進センター（以下センター）では、中国語の識字力に問題のない人たちに日漢辞典、漢和辞典、漢日辞典の辞書引きの指導をしている。ここでいう識字力とは、日漢辞典を引いたときに、その訳語の中国語が読めるというものだが、実際には読みとりの力が様々な人たちを含んでいることになる。たとえば、新聞が読める人から、手紙や簡単なお知らせ文が何とか読める人まで。また、子どもなら、学校の教科書の内容が難なく読みとれる子から、自力では読みとれない子まで。また、辞書を引くということについて言えば、中国でも日頃からよく使っていた人から、そういった習慣がまったくなかった人までが含まれる。

このいずれのタイプの学習者も日本に永住するために日本語の学習をこの先ずっと続けていかなければならない。センターでは、辞書引きをセンターでの4ヶ月の研修期間を含めた生涯にわたって続けられる日本語の学習に必要な技能と捉えて、指導をしている。すなわち、中国で新聞を読んでいたよ

うな人には、センター研修中あるいは将来的に日本語の新聞などが読めるように。中国語の手紙やお知らせが何とか読める人には、同様にして、日本語のものが何とか読めるように。ただし、日本で学校教育を受ける子どもたちの場合は、問題は切実で、中国語の教科書の読解力の如何にかかわらず、日本語の教科書は読めることを目標にする必要がある。さらに、いずれの学習者も生活の中で見たり、聞いたりした新しいことばを蓄積していけるようにすることは日本で生活していく上で必須のことである。むろん、これらのことは、辞書が引けなくても、人に頼んで代わりに引いてもらったり、直接意味を尋ねたりすることで用が足せるだろう。また、辞書が引けても、読解ストラテジー 1) や背景知識が身につけていなければ、効率よくは読めないだろう。しかしながら、人に頼むのは、いつでも、どこでも、誰にでも頼めるというわけにもいかないし、読解ストラテジーも基本的なところはセンター研修中に指導しておくのであるから、自力で辞書が引けるようになることで、この人たちが研修後もそれぞれの目標に向かってより効果的に自学自習を進めていけるのではないだろうか。

1 - 2 . 辞書引き教材の必要性

現在、センターでは、これまでに蓄積されてきた辞書引き教材を改訂しつつ、一冊のテキストにまとめる作業を進めている。センターの教材は、スモールステップによる積み上げを意識して作られなければならない。一般に、英語のような外国語の学習歴がある人で、その言語と母語間の辞書が使える人には、日本語の辞書引きの指導は必要がないとか、指導するにしても細かいステップは必要ないとされているようだ。センターでも、学習適性が高く、英語の辞書が使える人たちには、スモールステップによる指導はしていない。しかしながら、学習適性がそれほど高くなく、中国にいたときも辞書を使うことのなかった人たちでも前述のように辞書引きは必要な技能であるので、彼らに対しては、非常に細かいステップによる指導が必要になる。センターの教材は、このようなスモールステップの必要な人たちへの指導を目的としたものである。もちろん、学習適性の高い人にも必要なところを選んで使えることをめざしている。

2. 教材のねらい

2-1. 辞書が引けるとはどういう力か

新聞や教科書のわからないことばも、聞いたことばの意味も辞書で調べるために、まず、辞書の見出しが探せなければならない。50音順の配列がわかるだけでなく、活用形や接辞がわかる必要がある。さらに、文脈の中で適当な中文訳を探せるだけでなく、意識もできなければならない。しかし、センターには、書かれた語彙を文脈の中で捉えることが困難で、聞いた語彙から引ければいいレベルの学習者もいる。たとえば、

日本人 : 林さん、兄弟いる？

林(学習者) : はい、妹がいます。

日本人 : あっ、そう。私もね、妹がいるのよ。妹は、スチュワードスなのよ。あっ、伊藤さん、ちょっと待って...(と言いながら去る)

林(学習者) : ??? (「スチュワードス」の意味がわからない)

というような状況に陥った学習者が、帰宅後辞書を引いて「スチュワードス」の意味がわかるというような可能性がある。そのために、辞書を引く力が身につけているといいレベルの学習者である。このレベルの学習者の教材としては、ビデオ教材が望ましい。だが、本教材はプリント形式をとっていて、書かれた語彙を引くことを通して聞いた語彙も引けるようにするものである。

そこで、このレベルの学習者には、「趣味名」や「職業名」などシソーラスの具体物名を引くような最低限のものに絞る必要がある。

2 - 2 . どんな語彙が引けるようになればいいか

教材作成の際には、次のことに留意して辞書を引く語彙を選定した。

初級の中程度までの学習者に対して基本的な語彙であること

引いた語彙は、その後も覚えて使えるような役立つものであった方がいいため、「笹舟(ささぶね)」など日常的に使わない語彙や「塩素」など専門性の高い語彙は含まないことにした。また、一般に、センターの学習者が所有している辞書は、収録語彙数が少なかったり、中国から持ってきたものは最新の語彙が載っていないかたりもする。そこで「甘える」や「油断する」など覚えて役に立ち、かつ学習者の持っている辞書にある語彙を選定した。

同じ漢字を使っている中国語と意味の異なる語彙であること

- 1 . 漢語の場合

中国語と同じ意味の漢語は引かなくてもいいので含まないことにした。たとえば、「能力」は中国語と同じ意味で表記を見ただけで意味がわかるため引く必要がない。『打算...中国語では「～するつもりである」という意』のように中国語と意味が異なる語彙を選定した。

- 2 . 大和ことば系の語彙の場合

「諦める」や「着る」などは中国語にある漢字だが表記を見ただけでは意味がわからないため引く必要がある。また、「きつい顔」の「きつい」などひらがなで表す語彙を選定した。

なるべく文の中の語彙を引かせ、引いた訳語をそのまま文の訳に用いる直訳をしても不自然な中国語にならない語と文であること

日本語に翻訳された外国語の小説には意識がされていないために不自然な語や文があることがある。センターの教材では意識をしないように配慮することにした。たとえば、「この仕事は面倒です」という文では、「面倒」の訳語をそのまま用いて文を直訳しても不自然な中国語にはならない。

未習語彙であること

「赤い」は中国語では「紅」と表記するので学習者は見ただけでは意味がわからないが、センター研修の初期に「赤」という漢字表記も合わせて基本語彙の一つとして学習するため引く必要がない。そこで、既習語彙は含まないことにした。

2 - 3 . どの形の語彙が引けるようになればいいか

現実に目にすることばの形は様々で、辞書に載っているままのものだったり、そうでないものだったりする。どんな形であっても、その言葉を辞書で探せるようになる必要がある。具体的には、名詞や接頭語・接尾語の付く語等、辞書に載っている形のままが引けたり、形容詞や動詞の活用形から引けることである。

2 - 4 . どのような順序で引けるようになればいいか

目次(資料1)のスマールステップが引けるようになることである。まず、日漢辞典で辞書に載っている形のままの語彙が引けるようにする。慣れてきたら、次に漢和辞典が引けるようにする。書かれた語彙でルビがふられていないものならば、漢字の読み方を調べてから意味を引くことになるからである。さらに、活用形を導入したら、活用形からも引けるようにする。漢日辞典も、使えるようにしておくのが望ましい(2)

2 - 5 . どのようにこの教材を使えることをめざしたか

同じ教材を同じ目的に使用する一斉指導だけではなく、クラス内の個別化や自習にも対応できるように設問の指示をなるべく詳しく丁寧にすることをめざした。

3. 教材を使った活動例

3-1. 学習者タイプ別のプログラム

先にも述べたとおり、スモールステップによる積み上げを意識した教材のため、指導項目がかなり多くなっている。実際には、限られた時間の中で学習していくわけであるから、学習者のタイプ別に必要とされる項目を選び出す等して、進めていく必要がある。ここでは、青年Iタイプ（日本語が未習で学習適性がやや低い。最終学歴が小卒の学習者もいる。センター修了後の希望は就職や職業訓練校が多い）と青年ZNタイプ（日本語が既習のNと未習のZ。どちらも学習適性は高く、修了後の希望は高校、大学進学が多い）を対象にした現行プログラムを紹介する。

[Iタイプ]

センター修了後1～2年を視野に入れた場合のIタイプの学習者の目標は、その進路からすると職業訓練校の教科書程度のもので読めるということになるが、このタイプの学習者は個人差が大きく、そこまでに到達できない人も多い。そこで多くの学習者の場合、新聞などの見出しから大意が推測できたり、聞いた語彙の意味を調べて覚えたりすることが目標となる。このタイプの学習者には、辞書を引くという活動そのものに慣れていない人が多い。指導項目にスモールステップが必要なのももちろんのこと、集中力に限界があるのと身体で憶えることが重要なので、短時間の練習を回数多く重ねていくというトレーニングが必要である。授業では中国語で解説をし、教材を使って引く練習をさせるが、なかなか正解を導けない学習者も多い。教授者は、学習者の様子を見て回り、正解を導けない人には答えを与えてしまうのではなく、違っている箇所や正解を導くまでのステップになるヒントを与えるなど示唆するだけにして、あくまでも学習者の自習を後から助けるという姿勢に徹することが大切である。学習者が自力で引けるようになったら、復習教材を宿題でやってこさせるのが効果的である。また、センターでは、授業時間の最初の5～10分間で毎時トレーニングを行い、既習項目の定着を図っているが、この時間に辞書引きのトレーニングを行うのも効果的である。

以下は、指導項目。1項目は1コマ(50分)。

日漢辞典の見方と見出しの順序の練習

一語複数義語と同音異義語

漢和辞典の見出しの見方と音・訓を引く

形容詞の活用形から

動詞ない形の活用形から

上一段動詞の「ます形」から辞書形を導くのは、この段階では「一段動詞」か「五段動詞」かがわかっていないわけであるから、いろいろな可能性を考えねばならず複雑である。動詞の活用形から引く手始めとしては、やはり「ない形」から入るのが無難であると思われる。

動詞ます・たい形の活用形から引く

動詞て・た形の活用形から引く

Ｉタイプの学習者の多くは、「ます形」「て・た形」から辞書形を導くことが難しい。たとえば、「考えて」から「考える」を導けない場合には、漢和辞典で「考」を引くと、そこに辞書形が載っているため、読み方を調べれば、その後日漢辞典で「考える」の意味が引ける可能性がある。従って の活動については、漢和辞典と組み合わせて日漢辞典を用いる活動を取り入れるのもよい。

辞書を使ってまとまった量の文章を読む

センター作成の読解教材。学習者にとって身近なテーマを取り扱った「私のこと」シリーズの中でも、使用している文型が比較的やさしく文字数も250～400字程度と少ない「私の家族」、「私の故郷」、「私の趣味」を読む。また、「餃子の由来」など中国の中学生レベルの知識を手がかりに読める文章(学習者によってはその知識を補う目的もある)を読む。いずれも辞書を引く語彙は指示されている。(資料2)

修了テスト

レベルの文章で未習のものを読む。

この から には、1コマの単位でまとまった活動を行うもののみを示した。実際のプログラムは、これに、上述した毎時間始めのトレーニングや宿

題等を組み合わせ、成果が上がるように計画される必要がある。

[Z Nタイプ]

Z Nタイプの場合も個人差が大きい。個々の進路からすると目標は高校の教科書であったり、大学のテキストや文献であったりするが、多くの学習者にとって目標となるのは、高校の教科書程度のもの（中国で学習した内容が手がかかりとなって読めるようである）と中国関係・事件・話題のニュースなど新聞や雑誌記事程度のもので読めることである。このタイプは、中国の学校で英語を学習し、英語の辞書が引けるという学習者がほとんどである。前述したIタイプのような細かいステップは必要なく、授業で指導する時間も少なくてもいい。中国語の解説と練習により、主な項目を押さえておけば、あとは自習の過程で使いこなすことを期待することができる。指導項目は以下の通り。

日漢辞典の見方と見出しの順序の練習 / 一語複数義語と同音異義語
授業時間内に終わらない教材は宿題にする。

接頭語・接尾語の付く語

漢和辞典の見出しの見方と音・訓を引く

中間テスト

センター作成の読解教材にある「私のこと」シリーズの中でも使用文型が比較的高度な「中国での生活」、「日本と中国の食べ物」、「日本の行事、中国の行事」レベルで未習の文章を読む。読解テストと兼ねているが、未習語彙の意味を辞書で引かないと答えられない設問を含んでいる。ただし、引くべき語彙に下線が付くなどの指示はない。

いろいろな活用形から引く

活用形が正しく理解されていれば、練習をしなくても引ける学習者が多いことと、指導時間の制限から実施しない場合もあるが、できれば、活用形を一通り導入した後、一度練習しておくのが望ましい。

修了テスト

中国関係のニュースを扱った生の新聞や雑誌記事を読む。中間テストと同様に読解テストと兼ねている。（資料3）

3 - 2 . 個別化の活動例

学習者のタイプによって、一つの教材を違った目的に使用することができる。また、これは、クラス内の多様な学習者に対して個別化を進める際にも有効な手だてになる。

資料4は、中国語と意味が異なる熟語を引くための練習教材である。読み方を漢和辞典で調べてから日漢辞典で意味を引くという手順で進めるが、青年Iタイプの中には、日漢辞典を引くのに精一杯で、漢和辞典までは手が回らないという学習者もいる。そのような学習者には、読み方を人に尋ねることを目的とした指導を行う。クラス内の他の学習者が漢和辞典を引いている間、その学習者は「これは、何と読みますか。」とか「読み方、何ですか。」のような表現を練習し、それが発話できるようになったら、教室の外に出て、授業担当者以外の教師に読み方を尋ねて書くというものである。この場合、自力で聞き取って書けなければ、教師に依頼し書いてもらうこともできる。教室に戻ってきた学習者は、正しく表記できたかどうか担当者のチェックを受けた後、日漢辞典で意味を調べる活動にはいる。同様にして、活用形から引くための教材も、辞書形が自力で導けない学習者の場合には、辞書形を尋ねてから引くことを目的として使用することができる。(資料5)3)

また、クラス内に語彙の意味を文脈の中で捉えることが困難な学習者がいる場合には、他の学習者が文の中の語彙を引く課題に取り組む間、その学習者に対しては、前述したシソーラスの具体物名を引く教材を課題として与えるのがいい。(資料6)4)

4 . おわりに - 今後の課題

現在作成中のテキストは、センターで使用しつつ、さらに修正を加え、ゆくゆくは自習教材としても使えるようにしていきたいと考えている。前述したとおり、現行の教材には、文脈から意識ができるようにするための教材と漢和辞典、漢日辞典から引けない学習者のための教材がない。これらの教材を加えていかなければならない。

辞書引きの次の段階の目標としては、まとまった量の文章を読むときに、段落のキーワードとなるような語彙を自分で探して引けるようになることであろう。同時に、効率よく読むためには読解ストラテジーも合わせて使える

ようになっていることが大切であろう。キーワードを抜き出すための練習教材、読解ストラテジーのための練習教材、とを合わせた練習教材が必要になるが、現在のところセンターにはとを意識したものが少ない。その部分をこれから充実させていかなければならないと思う。

また、スモールステップが必要な学習者が自習していけるように、教材の内容では文の構造が複雑で辞書が引けても訳せないようなものがないかどうか、形式では指示や例題の説明がわかりやすいかどうかを再検討して整えていく他、自習が楽しく進められるように量的にはコンパクトにして、挿し絵を入れていきたいと思う。

注

- 1) 読解ストラテジーについては、池上(1994)「教科書読解に結びつけるための初級読解」『中国帰国者定着促進センター紀要』第2号参照
ここでいう読解ストラテジーとは、漢字の拾い読みや文末の表現に注意することで読みとばしたり、推量したりすること。また、文章レイアウトや写真・図表等の文字情報以外の情報を活用しながら、読むということである。
- 2) ただし、現行の教材は、漢和辞典、漢日辞典の教材も中国語辞典(中国語話者にとっては国語辞典)が引ける学習者に日中の漢字語彙の意味の違いを意識させるためのものしかない。音(中国語のローマ字表記)や部首から引くことのできない学習者向けのものはない。
- 3) ルビがふってあるのは、辞書形を導いて引くということに専念できるよう配慮したため。学習者のタイプによっては、ルビをはずして漢和辞典で読み方を調べることを課題に加えてもいい。
- 4) 聞いた語彙を引く目的の教材のため、ひらがな表記である。

(資料1)

辞書引き教材 目次

1. 目次

辞書に載っている形のままで

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 2. 図解：日漢辞書の見方 | 10. かたかな語（長音に注意） |
| 3. 見出しの順序（50音順）の練習 | 11. 漢字部首表 |
| 4. 一語一義、同音異義語なし | 12. 漢和辞典の見出しの見方
（漢字熟語） |
| 5. 一語複数義語 | 音と訓 |
| 6. 同音異義語 | 13. 慣用表現 |
| 7. 中国語の熟語と意味が異なる語 | 14. 漢和+日漢のまとめ |
| 8. 複合語 | |
| 9. 接頭語・接尾語のつく語 | |

活用形から

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 15. ナ形容詞 | 22. 動詞：命令形 |
| 16. イ形容詞 | 23. 動詞：可能形 |
| 17. 動詞：ない形 | 24. 動詞：受け身形 |
| 18. 動詞：ます・たい形 | 25. 動詞：使役形 |
| 19. 動詞：て・た形 | 26. まとめ：動詞のいろいろ
な活用形から |
| 20. 動詞：う・よう形 | 27. 動詞チャート |
| 21. 動詞：ば形 | |

漢日辞典

28. 漢日辞典

(資料2)

下の文を読んで、右の問題に答えなさい。

餃子は中国人が発明した食べ物である。中国の昔話にこんな話がある。

今から350年くらい前、清朝のころ、ヌルハチという名前の皇帝が中国を治め
(笛櫛込櫃) A

ていた。ヌルハチは あるとき、小さくて貧しい村へ行った。

その村には恐ろしい怪物がいて、村人たちは怪物をこわがっていた。村人たちは
B

「このままでは、村は滅びてしまう。なんとかならないでしょうか。」と
C

ヌルハチに頼んだ。ヌルハチは「村の人のために怪物を殺してやろう。」と考え
D

で、激しく戦った。そして、とうとう 怪物を退治した。
E

凶悪な怪物が死んだので、村人は喜んで、怪物の肉を刻んで、小麦粉の皮に包ん
F G

で食べた。これが、餃子の始まりだそうだ。

[1] 喘看灸恣迦獵媼嶄喘罪顧炎竈議汽簡議廷隈才吭房臥竈亟和栖。)

	廷隈)	吭房)
昔話	[]	[]
貧しい	[]	[]
頼んだ	[]	[]
退治	[]	[]

[2] 萩委獵媼嶄議強簡議看慕侘才壓鞘徨戰議吭房臥竈亟和栖。)

	看慕侘)	吭房)
A ^{おさ} 治めて	[]	[]
B こわがって	[]	[]
C ^{ほろ} 滅びて	[]	[]
D ^{かんが} 考えて	[]	[]
E ^{たたか} 戦った	[]	[]
F ^{よろこ} 喜んで	[]	[]
G ^{きざ} 刻んで	[]	[]

(資料3)

(資料3)

38 - Z修了テスト(読解)

物資交換の旅

中

国

「新民晩報」によると、中国北端の黒竜江省にある、ロシアとの国境の町黒河市の

中国国際旅行社は、対岸のブラゴベスチエンスク市に日帰り旅行を実施している。

だが、この旅行の参加者の目的は観光にあるのではなく、物資交換にある。中国人は大きな包みの中に、トレーニングウェア、スポーツシューズ、ワイシャツ、真珠ネックレス、チューインガムなどを入れている。観光バスは交換市場前に二時間半停車する。すると、ロシア人たちが物資を持って中国人のまわりに押し寄せ、言葉の障害も何のその、身ぶり手ぶりで相手の意思を確かめあい、物々

交換する。互いに満足の表情だ。ロシア人が持つてくる物は、望遠鏡、釣りざお、乳母車、腕時計、カメラ、ステンレス食器、ラシャ生地、オーバークोट、背広などである。

帰りのバスは渋雑を防ぐために暑い時でも窓は閉めきつたままで、しかも荷物に座席を占領されて旅行者は通路に小さくなって腰を下ろしている。

早朝六時から夜八時までの日帰り旅行は、実際のところ「日帰り商売」となっている。

(資料 4)

練習 次の言葉は中国語と意味が異なります。意味を調べて下さい。

(和双汽簡議吭房才查囂音揖、臥匯和)

1、私は社長を告訴しました。

(厘) 阻芙海。)

2、あの家には老婆がいます。

(椎倅型徨靴廖彭匯倅))) 。)

3、床に寝ないでください。

(艷鋒壓)))) 貧。)

4、林さんは清楚な人です。

(爽粹伏頁)))))) 。)

5、顔色が悪いですよ。大丈夫？

())) 音挫、音勸諸宅？)

6、怪我をして学校を休んだ。

(咀律))))) 、俛參短貧僥。)

7、あの二人は心中してしまった。

(椎踐倅繁)))))) 阻。)

8、嘴 ()

9、牙 ()

(資料5) 【な形容詞】 () クラス 氏名()

) 元気 [です、だ、でした、だった
じゃない、ではない
じゃなかった、ではなかった
な~
で、に] 辞書形 【 元気 】

あの人は ^{ひと} 勝手^{かって}な ^{ひと} 人です。

辞書形【 】

意思 (那个人是个 _____ 的人。)

この仕事は ^{しごと} 面倒^{めんどろ}ではない。

辞書形【 】

意思 (个工作 _____。)

先生の ^{せんせい} お嬢 ^{じょう}さんは 無口^{むくち}な ^{かた} 方ですね。

辞書形【 】

意思 (老師的的女儿是 _____ 的人。)

その柱 ^{はしら}は 邪魔^{じゃま}じゃない ですか？

辞書形【 】

意思 (那个柱子 _____ ？)

兄 ^{あに}の 態度 ^{たいど}は 真剣^{しんけん}じゃなかった。

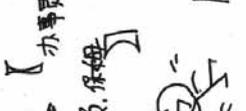
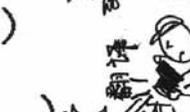
辞書形【 】

意思 (哥哥的 度 _____。)

辞書引きと単語を表る①①①の練習① (職業① 第一水準)

「1」 クラス 氏名 「」

次の単語の意味を辞書を引いて調べて、下の当てはまる絵の「」にかなで書きなさい。
以下の単語、从字典中把意思查明之后、把下边所画職業的名称用假名写出来。把上边的単語的中文名称也要写出来。

① いし	()		教師	【		歌唱家	】
② かしゆ	()						
③ かんご・ふ	()		厨师	【		店員	】
④ きしや	()		办事員	【		保育員、保姆	】
⑤ きようし	()		翻译	【		摄影记者	】
⑥ エツク	()		保育員、保姆	【		女中士	】
⑦ じむ・いん	()		摄影记者	【		女中士	】
⑧ つうやく	()		记者	【		大夫	】
⑨ てんいん	()						
⑩ ほほ	()						
⑪ カメラマン	()						